地域とのコミュニケーション情報発信紙

敬老園便り

【編集・発行】敬老園本部／〒386-0027 長野県上田市常磐城2256-1 2F　TEL.0268-28-1170（代）

第29号
令和2年
7月1日発行



p1　晴れた日の喜び
p2　永年勤続表彰・事業所表彰
p3～p4　新人職員辞令交付式
p5～p6　家族で安心して働ける環境
p7　五感で味わう敬老園の食事

設立 1973年（昭和48年）5月

敬老園の理念

少子高齢化の進展に伴う様々な問題に、地域に根ざした社会福祉法人として三つの理念を掲げ、役職員が一丸となり社会貢献を致します。

敬老園は人間の尊厳を大切にし、柔軟な心をもってあらゆる可能性のある質の良い介護を目指します。

敬老園は公平公正な施設運営を旨とし、変化する時代を的確にとらえ社会に貢献する健全な経営を目指します。

敬老園は心と心の結びつきを基本とし、取り巻く全ての関係を誠意と熱意をもって構築することを目指します。

晴れた日の喜び

ニッコウキスゲ（表紙写真）の花言葉です。天気が良い日は、外出して気分転換もいいですね。

日に日に暖かさを感じ、外に出て深呼吸をしたくなるような春の日。「来年も一緒に見ましょうね。」と約束したお花見。孫に会うことを楽しみにしていたゴールデンウィーク。日常の何気ない楽しみ、家族や友人に会うことの楽しみ。大切な人の命を守るためにみんなが心を1つにしなければなりませんでした。

当法人では、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染拡大を受けて、2月中旬から6月末まで入居施設の面会を禁止しております。面会を楽しみにしているご利用者様、ご家族様には大変申し訳なく、心苦しい思いではありましたが、大切なご利用者様を不測の事態からお守りする最善の策として、ご理解とご協力をいただき本当にありがとうございます。

私たちも面会・外出の制限や行事等の中止が日常生活に大きく影響することを一緒に感じていました。自分自身がウイルスに負けない、持ち込まないと強く思えば思うほど、肩に力が入り、気が休まらない感覚になります。しかし、感染対策に細心の注意を払いながら面会方法として「何かできることはないか。」「今だからこそ、新しい発想で考えてみよう!」と取り組みました。

みなみかるいざわ敬老園特別養護老人ホームでは、ガラス越しの面会として、携帯電話で会話をしながら、お孫さんがスケッチブックにメッセージを書いて談笑する姿がありました。

すわべ敬老園特別養護老人ホームでは、ご利用者様の写真と近況報告として手書きのメッセージを添えて、ご家族に郵送することで「顔を見られなくて寂しい気持ちが和らぎました。」とお礼の電話をいただきました。

みんなで時間を共有する外出支援やレクレーションも楽しみの1つではありますが、ご利用者様お一人お一人の望むものは何なのか。これまで歩まれた人生の中から生きがいにつながるものは何なのかを掘り下げて考えることの大切さを改めて感じています。

また、オンラインの面会や交流も取り入れ、より安心して過ごしていただける環境を整えていきたいと考えております。

今後も福祉施設の使命として、感染症から身を守ることの重要性を考え、日頃から職員の衛生管理に細心の注意を払い、手洗い、手指消毒、うがい、マスクの着用や施設内の消毒などの対策を徹底してまいります。

文章作成　令和2年6月10日



Newsその1

永年勤続表彰

～勤続10年以上の職員が380名を超える～

永年勤続表彰は、就業規則に基づき「永年勤続し、その勤務成績が優秀で他の模範である職員」に対して敬意を表するものです。

例年、3月末に開催される法人全体会議（法人全体の年度末総括並びに今後の法人の取組み方針等を職員全員の共通認識とする会議）にて200名を超える役職員の前で表彰式を盛大に開催いたしますが、新型コロナウイルスの感染対策のため表彰式をやむを得ず中止いたしました。

令和元年度末で勤続10年以上の職員が380名を超え、経験豊かな職員が質の良い介護サービスの提供を継続してまいります。

■令和元年度 表彰職員数

勤続年数	10年	15年	20年
副賞金額	3万5千円	2万円	2万円
受賞職員	54名	26名	11名

【受賞職員】91名　【副賞総額】263万円

Newsその2

あらゆる可能性のある質の良いサービス提供を目指して!

お互いの良いところに気付き、成果が出ている事業所の取り組みを前向きとらえていこう!そして、相互理解から切磋琢磨することの素晴らしさを全職員が共有していこう!という意識から、職場環境整備や働きやすい職場作り等の6項目を見える化（数値化）した結果から「事業所表彰」を初めて実施しました。



各事業所から評価委員を選出し、法人内全事業所を半年かけて巡回しました。「○○敬老園は、元気な挨拶が素晴らしい!」「○○デイサービスは、隅々まで清掃が行き届いている!」とお互いの良いところに気付くことができ、良いところを自分の事業所でも実践してみようと前向きな気持ちになれました。

令和元年度の最優秀事業所に輝いたのは、平成31年4月に中野市からの譲渡を受け、新たに敬老園の事業所となった「あんげんじ敬老園デイサービスセンター」でした。中野市ならではの果樹園畑が見渡せる快適な環境で、明るく元気な職員が安心できるサービス提供で絶賛営業中です!

あんげんじ敬老園デイサービスセンター
中野市安源寺665-3　☎0269-23-1177

News その3

令和2年度　新人職員辞令交付式

～新人職員17名を迎えて～

新型コロナウイルスの感染拡大により、スポーツや文化イベントの中止が相次ぎました。春の選抜高校野球大会中止の決定報告を聞いた球児たちが悔し涙で泣き崩れる姿を見た時に「自分が親だったら、指導者だったら、どんな言葉をかけるのだろうか。」と考えさせられました。また、日本中が開催を待ち望んでいた東京オリンピック2020も延期が決定。出場が決まっていた選手は、準備が進められていた会場は…。そんな暗いニュース報道ばかりを耳にする中で令和2年度がスタート。





4月1日（水）に令和2年度 社会福祉法人敬老園の新人職員辞令交付式を執り行いました。感染症対策に万全を期すため出席者全員がマスク着用、座席間隔を広くし、換気のために窓を開けたままの会場でした。

新人職員への挨拶で斎藤理事長は「本来なら大勢の役職員で盛大に迎え入れるところ、感染症対策を優先させていただいていることを大変申し訳なく思います。1日、1日を大切にし、時間軸で行動できる職員になっていただきたい。今日から皆さんは、敬老園というチームの一員です。敬老園で働いて良かったとみんなが思えるように一緒に頑張っていきましょう!前途に幸あれ!」とエールを送りました。

新人職員を代表して挨拶をした山浦萌さんから「敬老園の一員としてご利用者・仲間、そして地域から信頼されるよう努力したい。新人職員一同、一生懸命に頑張ります!」と決意表明がありました。

経営環境が年々厳しさを増しておりますが、地域の皆様に「あって良かった敬老園」と安心していただけるよう法人開設48年目も邁進してまいります。



新人職員の声

～ 敬老園の一員として ～



その1 同期と時間を共有することで安心感を得られました!

配属前研修の初日は、不安な気持ちで胸がいっぱいでした。しかし、同期と同じ時間を共有することで安心へと変わっていきました。研修を通じて新しい学びから自分自身を見つめなおすことができたと感じています。

斎藤常勤理事が「人を大切にする」「感謝の気持ち」について講義をしてくださいました。私は、研修の中でたくさんの「感謝」がありました。毎日、美味しい食事を準備してくださる厨房の方々、丁寧な講義をしてくださった先輩の方々、分からないことを聞くとすぐに対応してくださった人事課の方々。そんな皆さんと同じ敬老園の一員として働けることに感謝したいと思いました。

研修の最後に同期の仲間とのメッセージ交換をしましたが、心が温まり泣いてしまったことを忘れずに仕事も頑張っていこうと思います。

その2 誇りと責任を持つ!

4月1日より社会福祉法人敬老園の一職員として働いていくことに「誇り」と「責任」を持って頑張っていこうと決心しました。敬老園の名を汚さぬよう自覚を持って行動していこうと思います。



支える人になりたい! その3

配属前研修を通じて印象的だった言葉が「支え合い」です。これから社会人としての生活がスタートしますが、学生時代には考えもしなかった悩みや不安が出てくると思います。そんな時には、同期の仲間や先輩職員に相談しながら自分なりの答えを出して進んでいけたらと思います。また、仲間が悩んでいる時は、支えになれるような人になりたいです。

自ら積極的に挨拶をする、声をかけるなど当たり前のことを当たり前にできるように行動に移します。

その4 研修・辞令交付式を開催して頂き感謝!

本日の辞令交付式で「これから社会人として、敬老園の職員として頑張るぞ!」と学生から社会人への気持ちの切り替えができました。周りの友人たちは、研修も入社式も中止となり、自宅待機になっていると聞きました。もし、私も研修や辞令交付式が共に中止になっていたら、気持ちの切り替えが大変だったと思います。感染症対策を徹底したうえで、開催していただき嬉しかったです。

News その4

家族で安心して働ける環境が敬老園にはあります!

敬老園には、家族で働く職員が約140名います。家族からの紹介により自然に人数が増えており、お互いの仕事内容を理解し合えることで、家族間の関係もより良いものになっています。

今回は、敬老園で活躍する三姉妹を紹介します。





敬老園 × S三姉妹

拝啓　お姉さん。いつも仲良くしてくれてありがとう。照れくさくて、ずっと言えなかったんだけど…。私ね、ボランティアで敬老園に行った時にカッコイイお姉さんの姿を見て、同じ道へ。敬老園で働きたいと思ったんだよ。

社会福祉法人
敬老園
[本部]〒386-0027 上田市常磐城2256-1
E-mail jinji@keiroen.or.jp
■法人本部 人事・教育研修部人事課【担当／山口・霜村】
0120 FreeDial 0120-70-1651
8:30～17:30
社会福祉法人敬老園 ウェブ検索





長女

介護付き有料老人ホーム
まるこ敬老園
［介護職］

［資格］
介護福祉士

Q.介護の仕事を目指したきっかけは?
祖父母と暮らしていたことや、小中学校で福祉ボランティアに参加したことがきっかけです。さまざまな法人でボランティアを経験した中でも、利用者様と職員との関係が一番良いと感じたのが敬老園でした。

Q.入職して心に残った出来事は?
初めての看取りケアを体験したことです。ケアマネージャーや看護師との連携で「家に帰りたい」という入居者様のご希望を実現できたことが心に残っています。介護は、人の最期に携わる崇高な仕事だと感じています。



次女

小規模多機能型居宅介護
かわべちょう敬老園
［介護職］

［資格］
介護福祉士

Q.就職先として敬老園を選んだ理由は?
姉の職場にボランティアとして行った時、家で見ることのない姉のカッコイイ姿を見て「同じ道へ進もう!」と思いました。

Q.仕事をするうえで大切にしていることは?
とにかく笑顔でいることです。話すことが苦手な私ですが、自分が笑顔でいると利用者様も笑ってくださいます。そして、挨拶や言葉がけに誠意を持つことで信頼関係が築かれていく大切さを学んでいます。



三女

特別養護老人ホーム
うえだ敬老園
［栄養士・調理職］

［資格］
管理栄養士

Q.就職先として敬老園を選んだ理由は?
2人の姉の存在が大きく影響しています。仕事の話を聞いていると「正直、大変だな。」と感じます。でも、働く環境は良いイメージしかなく、安心して働けます。

Q.これからの目標は?
利用者様が、ずっと食事を楽しみに過ごしていただけるよう何事にも興味を持ち、チャレンジしていきたいと思います。先輩職員から技術や知識を学び、経験を積み重ねていきながら管理栄養士としての業務にも挑戦したいです。

食事の力で 心を潤していただけるように…。

しおがわ敬老園 上田市塩川1001

しおがわ敬老園では、敬老園の誕生月（昭和48年5月11日）で母の日もある5月に「青葉祭」を開催しています。新緑が眩しいこの時期に「ご入居者とご家族が一緒に笑って過ごしていただけるように。」という想いを込めて、毎年豪華な食事を用意してお祝いをします。

今年は、新型コロナウイルスが猛威をふるっているため、ご家族をお招きしてのお祝いを控えさせて頂きましたが、ご入居者に松花堂のお弁当を昼食に提供させて頂きました。常食の盛りつけは華やかに見えますが、食事形態のレベルが低下しますと、見た目も良いものとは言えません。お年を重ねてきますと、（飲み込み）機能や（噛む）機能が低下し、普通の食事形態では食べづらくなります。そこで、ミキサーにかけたものをゼリー状に固めたソフト食にして、見た目だけでなく、食材それぞれの味が感じられるよう調理しました。流動状も形のある形態で提供することで食欲が湧きます。

食事は、生活の中の楽しみのひとつです。施設の生活の中で「食事が心を潤すひとつ」になればと思いを込め、栄養課職員一丸となり、見た目の良い、美味しい食事の提供に向けて、更なる努力をしていきたいと考えております。

しおがわ敬老園　管理栄養士 小間澤 美幸



青葉祭 お品書き

主食	お赤飯
揚げ物	旬の天ぷら
強肴	蟹と錦糸卵のしんじょう
	焼売
	赤板つけ
煮しめ	季節野菜の煮物
和え物	酢の物
香の物	たくあん漬け
汁物	庄内麸・菜の花

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大が日常生活に大きく影を落としています。いつもの日常に制約があること、人と関わりを持たないことで気持ちが沈んでしまうことを痛感しました。「コロナだから」「コロナの影響が」と後ろ向きにならず、今できることを一生懸命にやろう!と思います。1人の1,200歩よりも1,200人の1歩。気持ちを合わせて せーの。（倉島）